

# みちくさ 迎春

## 明るく楽しい一年に！

駒場苑

総合ケアセンター 駒場苑  
平成30年1月発行 [第24号]

### 中村施設長の 年中夢求



「収穫の年」～笑顔に囲まれて～  
新年あけましておめでとうございます。  
今年の干支は戌年ですので、去年は言わずと知れた酉年。果実が成熟した状態を表し「実る」という意味がありました。では戌年は？「一」「戈」で作物を刈り取りひとまとめにするという収穫を表しています。  
去年は総合ケアセンター駒場苑として「改革の年」と位置付けて多様な視点から見直しに取り組んできました。  
想いを大切にされた採用活動を行った結果、事業所によってばらつきはあるものの採用、定着が進んだ年でした。その結果会議や委員会が当たり前のように開催できることで、食事、入浴、排泄のレベルが上っただけでなく業務全般の標準化や効率化も進みました。そして財務体質も昨年度までの厳しい状況からなんとか事業として成り立つレベルまで立ち直る気配を見せています。  
私達が行っている事業には終わりはありません。しかしどこかで区切りをつけていかないと成り立たないもの事実です。そう考えるとご利用者の笑顔が目的でありゴールなのですが、私達職員はその笑顔が見たくて頑張っているんです。  
笑顔という結果が実りだとすれば、それを楽しみに頑張ることが収穫といえます。そしてもっと笑顔になってもらいたいから更に頑張る。この周期を『サービスの向上』と呼ぶのです。  
人材の確保、育成、定着や業務の効率化、財務体質の見直し等は全てこの結果に繋がる手法に過ぎないのです。  
終わりなき仕事かもしれませんが、毎日の生活が笑顔に囲まれるとしたら、職員としてはこんなに嬉しいことはありません。  
ご利用者の笑顔、職員の笑顔、そしてこの先はご家族と地域の笑顔に囲まれた駒場苑を目指していきます。



### 飯岡栄養士の お食事レポート



数年ぶりに『ちよだ鮭』さんが駒場苑に来てくれました。お寿司はご利用者から要望の多いメニューなのですが、衛生管理やコストの面で高齢者施設での提供は難しいのが現実です。そんな中、願ってもいないような嬉しい話に職員も大喜びです。早速、担当の方と細かい打ち合わせに入りました。しかし困ったことに「高齢者施設に特化した形状は出来ない」との話。一般のにぎりしかできないので、ソフト食等それ以外の特食は厨房で作って欲しいとの事。当苑は給食を委託しており、委託会社では生ものの扱いは出来ない方針であるとわかっていたので、この一言は実は結構衝撃でした。  
ここで蘇ってきたのが以前働いていた特養での出来事です。そこでも全く同じような経験をしていたのです。その時ソフト食の方には、冷凍の魚や貝を加熱して蒲鉾のようなネタを作り、ご飯はバラけないようにゼラチンで炊いて握りにしてもらい、刺し身状のネタをのせて「お寿司ですよ」とお出したのです。数種のネタを作り、貝も玉子も本物そっくり。我ながら満足の出来栄でした。しかし、ご家族から「母はこんなのではなくて本当の刺し身が食べたかったと思います」との声が…。「なんとかして刺身を食べさせてあげればよかった」と言うその時の申し訳ない気持ちが蘇り、今回こそは！という思いを強くしました。  
そんな私の強引なお願いに委託会社も折れてくださり、事前に衛生委員による生もの取り扱いの指導、当日はスタッフの増員と、万全な体制を整えてくれました。厨房では調理師さんが食材それぞれの味をお楽しみいただけるよう、一つひとつの食材毎に加工して、心を込めて食べやすく美しい寿司を作ってくださいました。その完成を見た時には思わず涙が滲みしました。ちよだ鮭さんのご厚意に感謝。また陰ながらいつも皆さんの大切な食を支えて下さっている給食委託会社の皆さんに改めて感謝のよい一日となりました。



ソフト食用のお寿司

### ちよだ鮭 折り鶴キャラバン来苑

数年ぶりにちよだ鮭さんが駒場苑に来苑しご利用者・ご家族・職員に美味しいお寿司をご馳走してくれました。大勢の職人さんが目の前で握ってくれてご利用者も大喜び。お腹いっぱい頂きました。



一人前召し上がった後は好きなネタをおかわり。みなさん大満足でした。



食後は「奥山まさしバンド」の演奏。歌って踊っておおいに盛り上がりました！



「折り鶴キャラバン」とはちよだ鮭さんが行うボランティア活動です。この度は駒場苑に来てくださって感謝の気持ちでいっぱいです！！



# みちくさ

## 高橋相談員の ほのぼの日記



明けましておめでとうございます。  
 今年はどのような年になるのでしょうか。  
 ご利用者にとってより良い一年となるように  
 今年も職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思ひます。  
 どうぞよろしくお願い致します。  
 さて、今回はお正月の初日の出にかけて朝日についてお話し  
 したいと思います。私は一昨年の春までは5階の介護職員でした。  
 介護士として勤務していた約6年の間に様々な思い出がありま  
 すが、その中の一つに夜勤明けの朝があります。



当時の駒場苑東側の風景 (スカイツリー建設中)

今、駒場苑の東側には大きなマンションが建っていますが、昔  
 はこまばエミナスという公共の建物が  
 ありました。こまばエミナスが閉  
 鎖されて建物を取り壊した後は広大な  
 土地が広がり、近くに大きな建物がな  
 い為、遠くの方までよく見えました。  
 その期間半年ほどだったでしょうか。

夜勤中の疲労と眠気がピークに達する  
 夜明け、ご利用者の介助を終えてふと  
 ベランダを見ると東の空に大きな綺麗な  
 太陽が昇ってくるのを見て、「早番の人が  
 来てくれるまであともう少し頑張ろう！」  
 と力をくれたものでした。



屋上からの富士山 (朝)

今も仕事がある日は自宅で朝日を見ながら支度をしてい  
 ますが、夜明けの空はとても綺麗で何かしらの力を与えてくれるよ  
 うな気が  
 します。残念ながら今の駒場苑では朝日を見ることはできな  
 くなってしまいましたが、夕日と富士山を見ることはできます。特  
 に空気が澄んでいる冬の時期の富士山は真っ白に雪をかぶって  
 てとても綺麗です。

5階は最上階ということもあって他の階に比べて見晴らしが良い  
 せいか、「夕日が綺麗に見えるよ」、「富士山がよく見える」とい  
 った会話がご利用者、ご家族、職員の間でよく聞かれます。

3階、4階の方々もぜひ一度天気の良い日に5階、もしくは屋上  
 に遊びに行ってみて下さい。眺めが  
 良く、綺麗な空や夕日、富士山を見  
 ることができると思います。



屋上からの富士山 (夕方)

今年もご利用者とご家族の皆様  
 に大きな太陽が昇るような一年と  
 なりますように。

## クイズ

## 介護百人一首

上の句と下の句とイラストを正しく  
 結んでみてね。 答えは駒場苑  
 ホームページを御覧ください。

駒場苑では介護のコンセプトを 100 首  
 の短歌にして共有しています

食事の時は本確認しよう



お部屋にね  
私物を何でも持って来て

起きる寝る  
食べる時間や習慣は

浴槽は  
肩までぎぶんと  
浸かりたい

浴槽の  
出入りする時  
怖いのは

レクをやる  
時間を作るためと言い

ポータブル  
パット交換も  
座れず

立てずとも  
ベッドで着脱できるから

口の中まだ入ってるのに  
もう一口

食介は立ってやっては  
いけません

食べる時  
机の高さは  
へその位置

ポータブルで守る  
座って排泄

広さ調整で  
座位は安定

顎が上がって  
気管に入る

宙を浮く事  
できれば避けよう

変えてはいけない  
職員都合で

お風呂短く  
湯冷めで風邪引く

私物に囲まれ  
落ち着く心

前屈みで食べ  
肺炎防ぐ

綿のパンツで  
蒸れずに快適

焦るなペース  
飲み込み確認

